

# アービタックス®+ビラフトビ®+メクトビ®

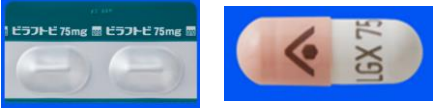


## ◆ 点滴に使用する薬と点滴時間

- 初回 : 2時間15分
- 2回目以降 : 1時間15分

使用する薬	外観	点滴時間
過敏症予防 デカドロン®、ポララミン®		15分
アービタックス® 初回 : 400mg/m <sup>2</sup> 2回目以降 : 250mg/m <sup>2</sup>		初回 : 2時間 2回目以降 : 1時間

- 薬の量は、副作用の程度などにより変更されることがあります。
- 点滴時間はあくまで目安であり、時間が前後することがあります。
- 過敏症予防のポララミン®による眠気が出ることもあるため、ふらつき、転倒に注意し、投与当日の車の運転は行わないでください。

## ◆ 内服薬

お薬の名前	飲み方、スケジュール
<p data-bbox="125 209 536 259">ビラフトビ®カプセル</p> <p data-bbox="44 327 162 375">75mg</p>  <p data-bbox="44 474 162 522">50mg</p> 	<p data-bbox="768 333 1262 468">1回 300mg 1日1回 連日内服</p>
<p data-bbox="211 613 451 663">メクトビ®錠</p> <p data-bbox="44 731 162 779">15mg</p> 	<p data-bbox="786 716 1243 851">1回 45mg 1日2回 連日内服</p>

## ◆ スケジュール

- 7日間を1コースとして治療を繰り返します。

アービタックス®：1日目に点滴

ビラフトビ®+メクトビ® 連日内服

1コース：7日間

## ◆ ビラフトビ®、メクトビ®を飲むときの注意

- この薬は、患者さんの疾患、体の大きさによって投与量が決められています。処方された**用法用量、スケジュールを必ず守ってください**。

## ◆ 飲み忘れたとき

### ○ビラフトビ®

- 飲み忘れに気付いた時間が、次回の投与時間まで12時間以上あく場合は、すみやかに内服してください。
- ただし、次の内服時間が12時間未満の場合はその日は内服せず、翌日から通常通り内服し、決して2回分を飲まないでください。

### ○メクトビ®

- 飲み忘れに気づいた場合、すみやかに内服してください。
- ただし、次の内服時間が近い場合は内服せず、次回から通常通り内服し、決して2回分を飲まないでください。

## ◆ ビラフトビ®、メクトビ®を過剰に飲んでしまったとき、間違えたとき

- 多く飲んでしまった、スケジュールを間違えた場合などは、すぐに病院へご連絡ください。

## ◆ ビラフトビ®、メクトビ®の飲み合わせについて

- ビラフトビ®、メクトビ®は、**併用に注意が必要な薬や飲食物があります**。薬局やドラッグストアで購入した薬も含め、担当の医師や薬剤師に飲み合わせを確認してもらいましょう。

## ◆ 治療日誌について

- 副作用の症状を把握したり飲み忘れがないように、治療日誌をつけましょう。

## ◆ 薬の名前について

- このパンフレットには、当院で使用しているお薬の名前が書かれています。調剤薬局で受け取ったお薬の名前と異なる場合があるため、お薬の名前を薬局でご確認ください。

## ◆ 主な副作用

### 皮膚障害

アービタックス®により、にきびのような発疹、かゆみ、乾燥、爪の周りの炎症などの皮膚障害が現れることがあります。

副作用の詳細や、対策方法、生活上の注意点については、別冊のパンフレットをご参照ください。

### 視覚障害

視力が落ちる、まぶしく感じる、虫が飛んでいるように見えるなど感じる場合は、すぐに病院へ連絡してください。

## ◆ 点滴中

下記の赤字の症状があるときは、すぐに医療スタッフへお声かけください。

### 過敏反応（アレルギー）

寒気、吐き気、頭痛、めまい、発疹、息苦しい

治療開始1～2回目ができやすいですが、治療を繰り返していても現れることがあります。

### 血管外漏出

点滴が漏れている、針を刺したところが痛い、熱っぽい、赤く腫れている、違和感がある

## 吐き気・嘔吐・食欲不振

必要に合わせて、吐き気止めでしっかりと予防を行っています。

それでも症状がある場合は、吐き気止めを追加で使用することがあります。水分が摂れないほど吐き気・嘔吐がひどい場合は、ご連絡ください。

## 便秘

お腹の動きが悪くなり、便が固くなったりお腹がはる場合があります。食事や水分摂取、適度な運動でも改善しない場合、下剤を使用します。

## 横紋筋融解症（関節痛・筋肉痛）

肩や背中、腰、手足の関節などが痛くなることがあります。

温めたりマッサージをすると改善することがあります。痛み止めを使用することがあります。

手足に力が入らない、尿が赤褐色になる場合などはすぐに病院へ連絡してください。

## 発疹

皮膚が赤くなる、かゆみが出ることがあります。

刺激の少ない肌着を着用しましょう。塗り薬やかゆみ止めの内服薬を使用することがあります。

治療開始後数日以内に全身に発疹やかゆみが出る、目の粘膜や唇がただれる、発熱を伴う場合などはすぐに病院へ連絡してください。

## 倦怠感（だるさ）

疲れやすい、気力がない、体が重いなどの症状で、日常生活に支障が出る場合は、診察時に主治医へご相談ください。

## 下痢

普段より1日4回以上多く排便がある、または1回でも水のような便があるときは、**下痢止めを使用**することがあります。

**強い腹痛や発熱を伴う場合、医師から処方された下痢止めで改善しない場合は、ご連絡ください。**

## 口内炎

口の中がヒリヒリする、しみる、痛くなることがあります。

**歯みがきやうがい**で口の中を清潔に保ち、**乾燥を防ぐことが大切**です。

また**うがい薬や塗り薬**を使用することがあります。

**がまんできない、水分もとれないほどの口の中の痛み**がある場合は、病院へご連絡ください。

## 手足症候群

手のひらや足の裏に、赤く腫れる、ひび割れ、水ぶくれなどの症状がでます。

痛みを伴い、ひどくなると生活に支障が出ます。症状の強さ、薬の種類によっては、**フローズングローブ**を使用することがあります。

**保湿剤（市販のハンドクリーム使用可）**を塗り、予防しましょう。

**手足へ過度な負担をかけないようにしてください。**

## ◆ 検査でわかる副作用

### 高血圧

血圧が高くなることがあるため、自宅で定期的に血圧を測定し記録し、診察時に医師に記録を見せましょう。

血圧を下げる薬を使用することがあります。

自宅での血圧が180/120mmHgを超える、頭痛や胸の痛みなどの他の症状を伴うときは、病院へご連絡ください。

### 低マグネシウム血症

血中の電解質マグネシウムが低下することがあります。マグネシウムが低下すると、食欲が低下する、脱力感、しびれやふるえなどの症状が出るがあります。

定期的な血液検査を行い、低い場合は点滴でマグネシウムを補充することがあります。

### 赤血球減少

貧血になり、めまい、だるさ、動悸、息切れなどの症状があらわれます。治療開始2~4週間頃に低くなります。

必要に応じて、薬で治療したり輸血することがあります。

### 【血液検査・尿検査について】

副作用の確認のために、定期的な検査を行います。

## ◆ その他の副作用

非常にまれな副作用ですが、万が一赤字の症状がある場合は、すぐに病院へご連絡ください。

### 間質性肺炎

たんが絡まない乾いた咳、息苦しい、発熱

### 心障害

定期的な心機能検査を行います。

足がむくむ、顔やまぶたが腫れぼったくなる、3日で2kg以上の体重増加がある、ちょっとした階段や坂で動悸や息切れを感じる

### 肝機能障害

定期的な血液検査を行います。

白目や皮膚が黄色くなる（黄疸）、ひどいだるさ

### 出血

青あざができる、鼻血、歯茎から出血しやすいなどの症状が出る場合があります。

血痰がある、下血がある場合は病院へ連絡してください。

### 皮膚悪性腫瘍

いぼができる、皮膚のただれやじゅくじゅくができる



## ◆ 緊急時の連絡方法

困ったことがあったときは、下記にご連絡ください。

気持ち悪くて水分も摂れない  
下痢が止まらない  
37.5℃以上の発熱が続いている  
薬の使用方法がわからない

など



診察券を用意する

代表：044-977-8111 に電話をかける

平日：8:30-17:00  
土曜日：8:30-12:30

腫瘍センター  
ナースステーション

夜間帯・休診日  
など左記以外の時間

各診療科の当直医

## ◆ 予約外受診の方法

病院本館正面玄関に入って右手の  
「②再診受付」または「予約外受付機」で手続きした後、  
各診療科の外来でお待ちください。

※受付時間：平日8:30-11:30 土曜日8:30-11:00

- 生活上の注意については、別冊のパンフレットもご参照ください。
- ご不明な点がある場合は、遠慮なく医療スタッフにお尋ねください。

薬剤師